



コミュニティ しずおか

2025
7月
No.179



移動調査のマーキングをするため蝶を捕る稲梓小学校の子どもたち

旅する蝶「アサギマダラ」を楽しもう

下田アサギマダラの会（下田市）

▼2017年から稲梓地区で活動する「下田アサギマダラの会」は、アサギマダラの美しさと旅する姿にロマンを感じた有志6人が、蝶が好むフジバカマの栽培や地元小学生のマーキング体験、ガイド活動等を行っている

▼地区にあるホテルの積極的な協力のおかげで、ホテルの敷地にフジバカマ1000本を植栽。10月になると100頭前後が飛来し観光客や地元住民を楽しませてくれる。昨年からは各家庭でも蝶の飛来を楽しんでもらいたいと苗を500株配布。市民も巻き込んだ活動を展開している。稲梓地区をアサギマダラの里にすることで地域を活性化させていきたい。

◇代表：渡辺 栄さん（問合せ・090-2349-9687）

【情報提供・井出秀成】

Topics トピックス

ようこそコミュニティ… P2～3
23年ぶり“祭り復活！”「浮山ふれあいフェスタ」（伊東市）

クローズアップ…………… P6
「川と海を守ろう 大作戦」（静岡市）



のりづき・りえ



発足間もない団体を紹介します。



左：演舞を披露する太極拳の皆さん 右上：白熱したボッチャ大会 右下：笑顔で受付 右中：ビールを飲み雑談する男性陣

23年ぶり“祭り復活！”「浮山ふれあいフェスタ」

伊東市

うきやま
浮山温泉郷祭りの会

\\ レポーター千春です！ //



陽射しが強くなり暑さを感じる5月、伊東市南部にある海と山に囲まれた別荘地 浮山温泉郷を訪問しました。ここは昭和40年から分譲が開始され、令和7年1月現在、771区画の内、約276世帯（約454人）が定住し、別荘利用者と定住者の両者が浮山ライフを楽しんでいます。今回、「知り合いを増やそう！」をテーマに復活した祭り「浮山ふれあいフェスタ」について浮山温泉郷祭りの会の皆さんに聞きました。

住民主体の“祭り”復活の経緯！

昭和50年、盆踊り大会「浮山温泉まつり」が始まり、以後26年間続くも平成13年を最後に中断され、浮山全体でのイベントは無くなります。これまで集めていた寄付金は、長いこと眠りについていましたが、令和5年に樋口代表がお祭りの復活に立ち上がり、民生委員の佐藤さんに声を掛けました。令和6年4月28日、コロナ禍で途絶えた住民同士の交流とコロナを機に増えた移住者と旧住民の融和を図ろうと、メインストリート会場に23年ぶりのお祭りが復活しました。

住民ボランティアが集った企画・運営

樋口代表と佐藤さんが中心となり、浮山の住民が参加している団体（健康体操クラブ・居場所等）に声を掛け、ポスティングや受付のボランティア、ステージでのパフォーマンスを依頼。浮山内の3施設（管理組合・不動産会社・老舗旅館）には、運営会議への参加や設営準備・片付け、出店を依頼し「浮山温泉郷祭りの会」が発足しました。

〓 イイね! 〓



取材をしていく中いくつかの工夫が見えてきました。①飲食ブースは外注の屋台・キッチンカーを呼び住民には楽しんでもらうことを優先。②1チーム3人で編成する「ポッチャ大会」を仲間づくりの一環として祭りの目玉企画で開催。

③昨年屋台でお酒を楽しんでいた男性陣に声を掛け、今年の開催に向けて男手の確保。④持ち場担当者を複数人配置。ボランティアも時間差で各々が楽しめるよう工夫をされていたところが印象的でした。また、住民の参加を促すため別荘地1区画当たり1000円分の無料チケットを用意。受付後に配布することで、参加者傾向のデーターをとり翌年の祭りの企画に活かしています。

今年は157区画の住民に無料チケットを配付。老舗旅館の宿泊者や従業員の参加もあったことから350人以上の参加がありました。

ゲームコーナーで遊ぶ子ども



メインストリートに並ぶ屋台



取材に同席された 左から、北野さん、室屋さん、佐藤さん、田巻さん、井上さん、樋口さん、内山さん、井戸さん

祭りをきっかけに知り合いを増やしていこう!

「移住者にとって顔見知りを作るって大変。健康体操や居場所に参加したことでお祭りやポッチャに参加できました。知り合いが増えて嬉しい」とボランティアで参加した北野さんと内山さん。「お祭りは知らない人同士でも話しやすい。ポッチャのサークルも発足する予定なので、交流の目的は果たせていると思います」と樋口代表。昨年と比べ参加者の滞留時間が増えたと感じているそうです。「これだけのことができるは、皆さんのご協力があったからこそ」と佐藤さん。なんと、メインストリートに架かる祭り旗は不動産会社の田巻さんの手作りだそうです。「従業員寮があるので若手も地域に協力していきたい」と浮山にある老舗旅館の井戸さんからは高齢化率97%の浮山に嬉しい前向きな意見がありました。

皆さんからお話を聞き、別荘地より居住地になりつつある浮山温泉郷では、祭りの復活をきっかけに住民交流を増やしていこうと新しい風が吹き始めています。新、旧移住者に加えて別荘利用者にもコミュニティの輪が広がり、豊かな人生を続けてもらいたいと感じました。



浮山HP

◇代表:樋口克美さん

(問合せ・0557-53-2074(浮山温泉郷管理組合))

【情報提供・佐藤みつ子】



レポート:鈴木千春 編集委員

沼津市

長野と沼津の「大岡地区」35年の交流！

大岡コミュニティ
推進委員会



長野と沼津「大岡」が1つになった「大岡音頭」

▼沼津市大岡地区と長野市大岡地区では、平成7年から双方の文化祭に出演し、太鼓や踊り、太極拳等の演目を披露する住民同士の交流が行われている。今年2月に開催した沼津市大岡地区の文化祭では、長野市大岡地区からの参加者と地元住民が大きな輪をつくり、両地区にそれぞれ伝わる「大岡音頭」を踊り盛りあげた。

▼きっかけは、平成元年に沼津の大岡中の生徒が高原教室の候補地を探していたところ、地図で同じ地名を見つけたこと。それを機に毎年ではないが双方の中学生の訪問交流が始まった。長野の子どもたちの受け入れには、大岡コミュニティ委員会が中心となり、民泊や体験学習等のおもてなしをしている。残念ながらコロナを機に中学校の交流は止まったまま。現在、再開に向けて模索している。

▼文化祭では、長野の特産物の販売や手打ちの信州そばが振舞われ、大岡住民の年に一度の楽しみになっている。今年で36年目になるこの住民同士の交流を今後も絶やさず続けていく。

◇代表：上田素行さん(問合せ・055-924-0299(地区センター))

【情報提供・木村優子】

藤枝市

合言葉は「ゆう」

千歳よりそい
サロン

▼令和2年6月に発足した「千歳よりそいサロン」の合言葉は「ゆう」。「友人」「悠々」「遊心」の「ゆう」を表し、誰もが気軽に楽しめるサロンを目指している。毎月第1木曜日に活動、毎回25人程度が健康や防犯意識向上の講座や工作などで楽しく笑い合い親睦を図っている。

▼同地区にはシニアクラブもあるが、もっと気軽に参加できる会を作ろうと声が上がり、シニアクラブに声を掛けスタッフを募った。現在10人で運営し、人脈や立地を活かしたプログラムを考案。映画上映や近くの蓮華寺公園でのお花見会等足を運びたい内容を心掛けている。

▼「地区には子ども園があるので、一緒に何かやってみたいですね」と渋谷代表。スタッフの高齢化という課題もあるが、合言葉の「ゆう」が表すように友人たちと悠々自適に遊ぶような気軽なサロンを継続していく。※ご近所の方、ご参加お待ちしております。

◇代表：渋谷壽一さん(問合せ・090-7611-8105)

【情報提供・浅田恭子】



真剣な面持ちで折り紙をする参加者

菊川市

強みを生かしてユニークなイベントを企画

NPO法人アート
コラルルきくがわ



記念撮影する今年の出場者たち

▼去る4月26日に菊川中央公園で、茶畑に向かって大切な人への感謝や愛を叫ぶユニークなイベント「茶畑の中心で愛を叫ぶ」が開催され、17組74人が出場した。主催は菊川市だが、市民活動を支援していることから多くの市民の参画を市から期待され、企画運営を任されている。

▼その他に当日は、お茶摘み体験や小笠原高校の呈茶、常葉菊川高校の子どもの遊び場の提供、手話教室やブラジル人学校の手芸品の販売など特色あるブースが出店。各団体や学校と企画会議やワークショップ等を重ね、事前に機運を高める工夫をしている。今回で4回目となり認知度は高まっているが、マンネリ化しないようにテーマの明確化を心がけている。

▼特に高校生の積極的な関わりが、地域の子どもたちにも良い影響を与えており、常葉菊川高校のジュニアアート教室に参加した小学生をはじめ、多くの子どもや学生がこのイベントに参加するようになった。若い世代が主体的に関わることで、地域イベントに継続的な活気と新しい担い手が生まれている。

◇代表：笠原活世さん(問合せ・0537-35-2220(市民協働センター))

【情報提供・松村真衣】



掛川市

みんな集まれ！ちはまモーニングマーケット

千浜地区
まちづくり協議会



地区からの出店を中心に約30ブースが並んだ

▼掛川市千浜地区(約1,200世帯)にある「千浜地区まちづくり協議会」は、「住み続けたいまち」をモットーに触れ合いのある心豊かなまちを目指している。去る3月9日には第1回「ちはまモーニングマーケット」を主催し約500人が来場し賑わった。

▼昨年12月に地域医療支援センターが呼びかけ、地区の自治会役員、民生委員、福祉委員、学生、行政等約50人が集まり「寄合ワークショップ」を開催。地区の課題を約10項目にまとめ、解決のためのアイデアを出し合った結果、千浜地区では近年、商店やJA支店が無くなり中心部が寂しくなっていたことから中心部を再び賑やかにと今回のイベントの実施が決まった。

▼子ども園や小学校へのチラシ配布、全戸回覧を2回出したが知らない人もおり、PR方法について課題が残った。急遽開催の為、単発で終わる心配もあったが、7年度の理事区長会で10月に2回目の開催が決まった。今後、地域活性化事業の一つとして推進していく。

◇事務長：榊林麻須美さん(問合せ・090-7674-6971(事務局))

【情報提供・安藤ミエ】

磐田市

まちづくりの議論を巻き起こしたい！

福田まち構想
研究会

▼磐田市福田地区で活動する「福田まち構想研究会」は、福田まちづくり協議会を通じて知り合った4人の有志で発足。市が推進する小中学校一体校構想「はまぼう学園一体校」の早期実現や地震や津波など自然災害への対応などの課題について、現在7人の会員(平均72歳)が月1回集まり議論を重ねている。

▼昨年度は住民が災害リスクを正しく理解し、安心感のある地域の醸成を目的に防災講演「福田地域の成り立ちと災害リスク」を開催。地域住民を中心に51人が参加。また、郷土に誇りを持ち地域を担う子どもを育てる活動として、中学3年生に福田地域の成り立ち及び干し芋の伝来についての講義と希望者10人を募りサツマイモを栽培し交流を図った。

▼本年度から学園一体校づくりの議論が始まる。跡地の利活用、自然災害への対応、活力ある地区づくり、魅力ある学校づくりなど当研究会で議論している事柄を積極的に提案していきたい。

◇代表：加藤 均さん(問合せ・0538-58-1179)【情報提供・安部詠司】



福田中学校の生徒とサツマイモ交流

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	沼津市	公会堂を井戸端会議の場に「青野ももざわサロン」	青野自治会 小地域ネットワークももざわ	皆で支え合う地域社会を目指します！	高村 光
2	静岡市	「私も何かしたい！」が叶う清水の市民活動の拠点	静岡市清水市民活動センター	社会的課題の解決に取り組む市民活動を促進。	佐々木光太郎
3	湖西市	地域の偉人「夏目麿」の功績を継承する取り組み	夏目麿(みかまろ)顕彰会	白須賀が誇る江戸時代の国学者「夏目麿」の遺徳と業績、文化的遺産を継承。	片山愛司

青野自治会小地域ネットワークももざわ



静岡市清水市民活動センター



夏目麿(みかまろ)顕彰会



クローズアップ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



取材日に
清掃参加していた
皆さん

ゴミの計量をする
ユウトさん



大雨が降ったあと
海岸に流れつく
大量のゴミ

「川と海を守ろう 大作戦」～静岡の未来を守る!カチカチ鳥の環境活動～

〓 レポーター久雄です! 〓

カチカチ鳥 (静岡市)



静岡市内の一級河川、安倍川の下流にある向敷地河川グラウンドと大浜～中島海岸で清掃活動を定期的に行っている「カチカチ鳥」。ゴミの減量や幅広い環境教育に成果を上げていると知り、活動に参加しながらお話を聞きました。

カチカチ鳥ができた経緯と団体名の由来

令和3年12月に発足した「カチカチ鳥」は、駿河区内で清掃活動をしている4団体「杣(そま)プロジェクト、marine heart、海とTomoプロジェクト、静岡海辺づくりの会環境整備部」の総称です。毎月1回、協働で川と海の清掃活動の他、イベントでの環境ブースの出展、環境教室の教材で使用する廃ペットボトルの提供をしています。

ユニークな名前には、コトの価値・モノの価値を見直すきっかけになればという願いが込められており、また、トンガをカチカチ鳴らしゴミ拾いをする姿が餌を啄む水鳥に似ていることも名前の由来になっています。

6/1の活動に参加

朝8:30。今回の活動場所の河川敷に到着すると11人の方がゴミ袋片手に迎えてくれました。現役世代の男性が多く、親子やご夫婦での参加の方もいます。小学3年生のユウトさんは、幼稚園の頃から毎回親子で参加しており、ゴミを見つける速さには「生きた環境教育の成果」とお母さんはその影響の大きさを実感していた。

1時間程の活動後はゴミの計量です。この日は一般ゴミ3.4kg、ペットボトル4本、ビン缶各1本。終了後はカフェタイムが始まり、参加者同士の交流の場が用意されていました。

活動の効果とこれから

活動初期には拾いきれない膨大な量のゴミや粗大ゴミが毎月出るほど酷い状態でしたが、最近はゴミの量が目に見えて減少しているとのこと。活動日はHPやSNSで発信し、誰でも参加できます。海岸での清掃は100人以上が集まることもあり、世代を超えた多くの人が環境保全に貢献しています。

今後の目標を聞いてみると、カチカチ鳥が主体となりマイクロプラスチックについて考える環境教室を計画してみたいとのことでした。

取材を終えて

「ゴミを拾うことが目的でなく、ゴミを拾うことはおかしいことだと気が付くきっかけになって欲しいです」取材を受けてくれた坪井さんの言葉が印象的でした。団体名にある「カチ・価値」の捉え方を見直してほしいという思いが伝わってきます。

ゴミを無くすには、多くの人の協力と長い時間が必要です。参加者が継続的に活動できるように、同様の活動をしている団体が協働し、お互いのワークショップやイベントに気軽に参加できることは、素晴らしい仕組みです。また、清掃後の「カフェタイム」は、親睦が深まると同時に環境意識の共有や情報交換の場になるので、機会があったらマネしたいと思いました。カチカチ鳥の活動は、単なる清掃活動だけではないと感じた取材でした。

◇代表: 大石善博さん

(問合せ・kachikachidori.shizuoka@gmail.com)

【情報提供・近藤 武】



HP



レポート: 鈴木久雄 編集委員

コミュニティしずおかの立役者!情報通信員を紹介しま〜す

この冊子は、県内各地で委嘱のお願いをした情報通信員に地域活動の情報を提供していただいております、本年度は26市町31人の皆さんに活躍していただきます。まずは前編の15人です。



下田市

井出秀成 さん

里山の中にある小学校で、草刈りをし、心地良い汗を流しています



南伊豆町

山根美果 さん

南伊豆の良いところお届けします!



松崎町

森 秀己 さん

YouTube「わっしょい松崎」で、松崎町の魅力を発信しています



伊東市

佐藤みつ子 さん

伊東に新しい風が吹きました。私もその風と一緒に頑張ります



沼津市東部

木村優子 さん

大岡地区センターに飾っている、長野の大岡の守り神の道祖神と



沼津市西部

高村 光 さん

2年目です。情報探してはるか石垣島までやってきました



御殿場市

勝又長生 さん

77歳喜寿
出戻り通信員!



裾野市

志田忠弘 さん

裾野市で活躍する方々を紹介します。人と人をゆるくつなぐお手伝いをしたい!



伊豆の国市

柴田美智子 さん

新しい情報を求めて日々頑張っています!



函南町

近藤直子 さん

初めて情報通信員がんばります。人とのご縁が人生の宝物です



小山町

秋田未来 さん

年々深まる小山の魅力をお届けします🌟



富士市

藤田 嗣 さん

落語で慰問活動しています。座右の銘は【任にあたりて他に譲りがたし】



富士宮市

武井信夫 さん

一期一会
人との出会いを大切にしたい!



静岡市清水区

佐々木光太郎 さん

清水の皆さん、宜しくお願いします♪



静岡市駿河区

近藤 武 さん

東海道20番宿丸子のことなら何でもおたずねください



常務のつ・ぶ・や・き

皆さん、はじめまして。この4月から、静岡県コミュニティづくり推進協議会の一員となりました、佐藤典生です。静岡市出身の67歳。これまでは静岡県職員として44年間勤めてきました。44年間の前半は仕事中心で、地域のこと・コミュニティのことにはほとんど関わってきませんでした。後半は年齢も重ね、親から代替わりして、町内会(自治会)・防災委員・部農会・お宮さんなどの地域の活動に参加するようになりました。

最近、地震や風水害などの自然災害が多いこと、簡単に人が殺されてしまうこと、特殊詐欺が多いことなど、世の中が殺伐としているように感じます。こんな中だからこそ、地域の繋がり・絆が大切だと思います。これから、皆さんと一緒に、地域のコミュニティ活動をますます活発にしていきたいですし、私自身も地域の活動にこれまで以上に積極的に参加していきます。よろしくお願いします。

本年度の編集委員を紹介します



前列右から

- ・鈴木朝子 氏 (本会推進専門委員)
- ・鈴木久雄 氏 (コミカレ修了生・島田市)
- ・鈴木千春 氏 (コミカレ修了生・沼津市)

後列右から

- ・柴田和彦 氏 (県広報協会常任理事兼事務局長)
- ・深澤宙希 氏 (県地域振興課)
- ・佐藤典生 氏 (県コミュニティづくり推進協議会常務理事)

コミセン家



地域情報をお寄せ下さい!

静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856
静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階
【TEL】054-251-3585
【FAX】054-250-8681
【URL】<http://www.sizcom.jp>
【E-mail】sizucum0829@po.across.or.jp



地域活動に関心のある方へ!

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

コミュニティカレッジに参加してみませんか!!

地域づくり活動の基本的な考え方や進め方、活動のコツを学ぶ講座です。
コミュニティ活動初心者も大歓迎です。楽しく学びましょう

※詳細はHPをごらんください。

9/20 (土)	講義「コミュニティ活動を楽しむための入口」 渡村マイ氏 (一社SACLABO代表理事)	会場 県総合 社会福祉会館 601会議室
	講義「地域づくりの土台という視点」 小田圭介氏 (裾野市東地区おやじの会何にもしない会宿実行委員長)	
10/4 (土)	講義「協働が地域の可能性を広げる」 笠原活世氏 (菊川市市民協働センター長)	
	講義「実践型の企画の立て方を学ぼう」 望月誠一郎氏 (地域デザイン研究所長)	
10月中	現地訪問研修 (県内で先進的な活動団体を訪問します) 東部: 青木平区自治会 (自治会町内会) 中部: 長田東社会福祉協議会ささえ愛 (地域福祉) 西部: 岩田故郷の会 (環境整備)	
11/8 (土)	演習「コミュニティ実施計画書づくり」 望月誠一郎氏 (地域デザイン研究所長)	

コミカレ修了生からのメッセージ



何となく自分がやりたい事が見つからない、と思っている方。目から鱗が落ちるような話が聞けたりします。他の受講者さんとの交流も楽しいです。 R6 藤枝修了生

他の地域の状況や問題点を知る機会があり、我々と同様の問題点を抱えているケースと対処法について参考になりました。 R6 菊川修了生



皆さんがどんな活動をしているのか知りたくて参加しました。自分のできる事を探している人にお勧めです。 R5 静岡修了生

人とのコミュニケーションの取り方について今まで意識しすぎていた事を気づかせてもらいました。地域の課題解決に向けて努力されている方、解決したい意識のある方参加するといいですよ。 R6 函南町修了生



サマ
ジャンボ

1等・前後賞合わせて7億円

1等5億円、
前後賞各1億円

7
億円

当さんの
チャンス広がる!
サマ
ジャンボ
ミニ

5,000万円

1等・前後賞合わせて5,000万円

1等3,000万円、前後賞各1,000万円



この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月11日金 同時発売

各1枚
300円

●発売期間: 7月11日(金)~8月11日(月)
●抽せん日: 8月21日(木)

PCやスマホで
ネット購入!



宝くじ公式サイト

2025年市町村振興宝くじ
一般財団法人 全国市町村振興協会